

学校経営推進費 評価報告書（2年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程 II類（看護進学コース・特別進学コース）平成28年度の新入生から対象とする
取り組む課題	英語教育の充実
評価指標	・英検2級以上の合格者の割合の向上 ・GTEC for Students（スピーキングあり）におけるGrade 5以上の生徒の割合の向上
計画名	トビタテ、金蘭Ladies!

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1 確かな学力の育成（授業が自慢の金蘭づくり） (3) 生徒が興味関心を持ち、自主的に取り組める学習 ICTの活用や中学の7つの習慣、高校での教養講座など、指導方法の工夫改善を行う。 ※保護者アンケートで、生徒の興味関心を深め、学習意欲を高める取組みをしているとの肯定回答を28年度は95%にする。(25年85%)
事業目標	英語力の強化を図り、3年間でII類での英検2級以上の合格者の割合を30%以上（現高3は9%）、準2級以上の合格者の割合を70%以上（現高3は19%）にする。そのためにはICTを積極的に活用し、生徒の意欲的な学習態度を育てる必要がある。「スタディサプリENGLISH(リクルート)」などを活用し、「1人ひとりの弱点を洗い出し、基礎を固め」、「聞き取れない原因を診断、解決」、そして「家庭学習でも話す力、聴く力を育成」することにより、英語の4技能の伸長を図る。またそのために1人ひとりの学習状況を把握し、適確な指導を行う。更に国際理解教育、キャリア教育、語学研修、留学を通し、「自分も社会に貢献する」「社会に貢献するには英語が不可欠」という認識を生徒の中に定着させ、英語学習への動機づけとする。これらの取り組みにより積極的かつ主体的に英語学習に取り組む環境を作り成果を出し、I類(他コース)へも広げていく。
整備した 設備・物品(数量)	iPad mini 16GB 75台、タブレット収納保管庫2台、iPad管理用にMac Book air 1台
取組みの 主担・実施者	主担：英語力向上推進チーム 取組みの実施者：英語科の教員全員
本年度の 取組内容	GTEC全員受験（12月） 4月より英語の授業と放課後の錬成授業でiPadを使用。 英語教育先進校視察（2/16）順天中学高等学校 1名。 イメージンプログラム（11/17）実施。 英検対策（スタディサプリ・スタディギアの活用、対策授業、対策宿題など、12月～1月）、英検全員受験（1月） GTECと英検の可否内容の分析と情報共有（3月）。 英語科チームによる英検対策及びICT活用状況に対する評価、生徒による取組みへの評価アンケート実施。 次年度に向けた取組みの決定（3月）
成果の検証方法 と評価指標	2年目 英検準2級以上の合格者を50%以上にする。 GTEC for StudentsのGrade 4以上の生徒を50%以上にする。
自己評価	高校2年生II類在籍64名。年3回の英語検定を校内で準会場として実施。それぞれの目標級を受験。 2級合格者6名（保持率9%） 準2級合格者34名（保持率53%）（○） GTEC for StudentsのGrade 4以上の生徒は47%（○）昨年7.5% イメージンプログラムについての生徒アンケートでは、肯定的評価が90%（○）、この授業を通しての英語への興味関心が増したとの評価は80%（○） iPad使用に関する生徒アンケートでは、使用に困ることはないが、78%（○）とほぼ使いこなしている、効果的に使われていると感じているものが62%（○）の一方で、ネットの回線速度などで不満を感じているが62%（△）あり、iPadを使うことで教科に関する興味関心が増したが41%（△）と昨年度と同様の評価になり改善が見られなかった。
次年度に向けて	高校2年生と同様にiPadを高校3年生でも使用予定。 コミュニケーション英語Ⅲ：英単語・英熟語の徹底。そのために、iPadを活用し、「quizlet」アプリなども使いながら単語力の定着に努める。「ロイロノートスクール」というアプリも引き続き使い、本文の音読を提出させ、読解力、リスニング力、スピーキング力の強化を図る。 英語表現Ⅱ：これまでの高校英語の文法の学習とともにライティングの強化を図る。ライティングの課題の提出にもiPadを活用し、英検2級合格に必要な80～100語の英作文ができるように学習をする。 英語演習：問題演習が中心になるので、ここでも単語力、読解力、リスニング力などの強化を図る。その際、解説や答え合わせにiPadも活用する。 全ての科目の取組みを通して、大学受験の学力養成を意識しながら、英検2級の合格をめざす。